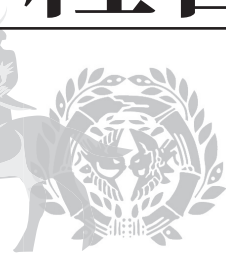


経営と健康

第1回

六十二万石の安泰「伊達政宗堪忍袋」

講談師 一龍斎貞花



アメリカの大統領が交代するや、すぐにご挨拶に行く。日本ばかりでなく他国の首脳も。ご機嫌伺い、参勤交代などと揶揄する人もあるが、安倍総理とゴルフまでしてくれたんですから、交遊の成果はあったのでしょうか。

江戸幕府の三代将軍徳川家光は、全国の大名家に参勤交代を命令致します。

参勤の起りは、鎌倉幕府の御家人による京都大番役、鎌倉番役にはじまり、京都の室町将軍のもとへ守護大名がおもむく、その後織田信長の安土、豊臣秀吉の大坂へと。家康が関ヶ原合戦に勝利を収めるや、外様大名の中にはご機嫌伺いに江戸へ来る者があり、そこで江戸参勤と妻子が江戸に住むことを奨励し、屋敷の土地のほか刀、馬、絵画、米などを褒美として与え、家康と

二代秀忠は、東海道から来る大名は品川宿、中山道は板橋宿、甲州街道は新宿、奥州街道は千住の宿場まで、「ようこそ、おいでなされた」と、出迎えておりました。

これを見た家光が、「これではいかん、全員出て参れ」と、全国二六〇余大名をA班とB班に分け、四月一日から翌年の三月三十一日まで必ず江戸に居ること。出てこない者は謀反の志あり、討手を差し向ける、と完全実施を図ります。

これは中央集権の確立と、江戸と国元の二重生活で金を使わせ、謀反を起こさせないように考えたわけです。薩摩藩は、鹿児島から江戸まで四百十一里、約六十日掛かり、年間予算の1/4以上の経費。加賀家は百万石ですから千二百人からの行列、旅費、宿泊費だけでも大変お金がかかる。道

具持ちなどの小物は現地採用。「下に、下に」は人家のある所だけで、人家の無い所は「急げ、急げ」と小走りに。一泊少なくするだけで大きな経費節減になる。

政宗、江戸へ参勤

仙台から伊達政宗もやって参ります。これをみた老中筆頭土井大炊頭利勝、

「家康公と兄弟のようにおつきあいなされた政宗殿が、はるばる江戸までとはご苦労なこと、一つご馳走して慰めてあげよう」

その取持ちを旗本にと、大久保彦左衛門に相談すると、「結構でござる」彦左衛門から水野十郎左衛門に。十郎左衛門も承知して旗本連中に。「ナニッ我々が接待役、冗談ではな

い

「全くだ、けしからん」

なぜ旗本がこんなに怒るかといえは

「我々は、安祥山中譜代の臣、徳川が榮えれば徳川と共に榮え、徳川が亡びれば徳川と共に亡びる。だが大名は織田が盛んな時は信長に従い、豊臣が盛んなれば秀吉に、徳川が盛んなれば徳川へと、あつちへくついたり、こつちへくついたり、二股武士、膏薬武士だ」

と、大変仲が悪かった。

「政宗が来たら、なぐる奴はいないか」

「理由なしになぐることは出来んぞ」
「出来ることをやったのでは面白くない、出来ないことをやらなければ。なぐった者を一番偉いとして、一日上座に招いてご馳走しようじゃないか。どうだ、誰かおらんか」

「よし、俺がやってやろう」

ひと膝乗り出して参りましたのが、旗本仲間でも乱暴者と異名を取りました兼松又四郎、

「政宗をなぐつたら、必ず馳走してくれるか」

「うむ、必ず馳走する」

「二つなぐつたら、二日馳走するか」

「よし、二日ご馳走しよう」

「それなら五つなぐつたら、五日してくれるか」

「相手は馬鹿でなし、狂人でなし、そうはなぐれるもんか」

「よし、俺二つは、必ずなぐつてみせる」

大変な相談が持ち上がりました。

そんなことは、大炊頭も政宗もご存知ありません。

いよいよ当日、政宗公芝新銭座の上屋敷をお立ち出でになります。現在の、東京港区役所のところ。以前は役所内にあった、お芝居でお馴染み先代萩の飯炊(ままた)きの井戸が、玄関前に設置され、伊達家の屋敷跡、名所として紹介しています。

三柄大名のお国柄

政宗は、中納言ですから、「下に、下に」と先を払ってもいいのですが、

將軍家のお膝元ですから、「下に、下に」は遠慮して神田橋御門内土井大炊頭のお屋敷へとやって参ります。

下馬將軍といわれた大老酒井雅楽守忠清の屋敷も、大手門前と総理大臣役の人は、江戸城のすぐ近くに屋敷がありました。

現在の法務省は桜田門前、江戸時代愛の政(まづり)を行つた上杉鷹山の上屋敷と、新任保護司研修の度に紹介し、心を伝えていきます。

玄関正面にお乗物がお着きになる。引き戸が開く、お屋根が上る、お立ち出でになりました政宗公。出羽奥州五十四郡の盤鎮、仙台青葉山のご城主で御高六十二万石伊達陸奥守政宗。ご先祖が、大職冠藤原鎌足公。三柄大名のお国柄。三柄大名とは、江戸時代の大名中、前田家は禄高が百二十万石と最高の禄高なところから「お高柄」。薩摩家は、源頼朝の側室の長男が初代という名家なところから「お家柄」。伊達家は、農作物が豊かで国が富むと

ころから「お国柄」。これを三柄大名と申します。

NEW WAVEで、単組訪問、それ

ぞれのお国自慢が紹介されておりますところから、お国柄の紹介をしました。が、現在まちおこしの講演ご依頼があり、歴史、名所、人物の物語など掘り起し紹介をしているが、芸人はダメ、学術的でなければいかんという所が少なくない。私は、まちおこしは市民を動かすこと。小難しければ一般市民は我関せずが少なくない。いかに判りやすく、税収のことなどを含め市民に話すが大切といつもいつています。

何も無いという宇都宮は、餃子を食べる日本一と、浜松に追い抜かれるや、「もう少し、餃子を食べてください。日本一奪還ですよ」と、市民にうったえ、市民がそれに応えて餃子を食べ、再び日本一に。わかりやすく市民を動かす。

企業も、社員にいかにか判りやすく話し、一人一人を動かすことが大切です。やさしいことをむつかしく話すエライ上司、大センセイ。むつかしいことをわかりやすく話す上司。やさしく話すと軽く見られるという人、少なくあり

ません。上司の貴方はどちらですか。東北一の仙台にも、実は不満が一つあります。

紹介しています仙台青葉山城に、お城の門一つ無いんです。せめて門を建てようと二人の歴史学者に相談したところ、一人はここ、一人は此方と譲らず結局建てられなかったと、関係者から聞いた。架空の人物すら有名なら銅像を建てている所もある。大河ドラマで歴史の場所が変わることがある一方、学者、郷土史研究家の中に融通の利かないセンセイが少なくない。健康食品の効果宣伝に、ナントカ医学博士の効能説明も同じ。もつともそれを信じて購入する人が多いから宣伝効果といえましょうか。

政宗から話はそれてしまつたが、天下を取ると、政治でも企業でも突っ走ってしまったら、放言、忖度行為が往々に見受けられ、トップの戦略読み間違ひから、日本を代表する企業が危機に陥るケースしばしば。

豪毅と思われている政宗が、細心の注意を払い、健康を害してまで、六十二万石伊達家存続に努めた政宗の知略、次号のお楽しみ。パパンパン■